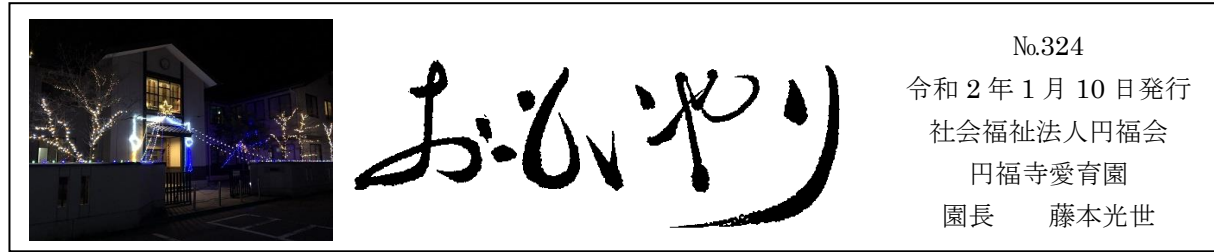


今年も、どうぞよろしくお願ひ致します。



おもいやり正月号

楽しかったクリスマス会

園長 藤本光世

12月22日にクリスマス会をしました。

職員が準備して練習してそこに中高生が参加して、とてもとても楽しいクリスマス会でした。私は腹を抱え涙を流して笑いました。こんなに笑ったのは、久しぶりです。子どもたちもたくさん笑って、きっと心の満足を得たと思いました。子どもたちを楽しませようと準備し練習してこの日に臨んでくれた職員の皆さま、子どもたちありがとうございます。

楽しかった内容は、職員や子どもたちの文を読んでください。



(子どもによるショー)

クリスマス会のあとは、長野放送からのご寄付のケーキをみんなで食べました。子どもたちも職員も余韻が残っていて、子どもたちが職員のところへ行ってアンコールをねだったり、抱っこしてもらったり、出し物を一緒にやろうとしたり…でとても微笑しいひと時となりました。

私は普段と違う職員や子どもたちの様子を見て、思いがけない良い面をたくさん発見しました。私にとってもありがたいクリスマス会でした。

行事の一つ一つが子どもたちと職員の間を近くして、人間関係を密にします。すると、子どもたちに言葉が入るようになります。そして、子どもたちは自然と毎日の生活を自律して過ごします。翌日から小学生の男の子の起床が早くなったことは、その一つです。きっと自分から進んで起きて、

(令和2年1月10日発行 月刊「円福」472号付録)

早く談話室に入ってくるのでしょうか。その様子を見ると、この子たちは今日一日大丈夫だと安心します。子どもたちが良く育っていると嬉しく思います。皆さんありがとう。

お正月

一年の計は元旦にありと言うように、元旦の朝の過ごし方はとっても大切です。私が子どもころは、元旦の朝はみんなで横田のお宮まで歩いてお詣りに行きました。帰りに初日の出を拝みました。朝食は、お砂糖湯を飲んで母が作ったお雑煮と黒豆を食べました。お雑煮のお餅は暮れの28日に臼で搗きました。その日は、母が朝4時ころから起きて、へっつい(竈)に火をくべて大きな釜に沸騰させた湯の上に蒸し器を何段にも重ねてもち米を蒸しました。それを臼に入れて、みんなで搗きます。お隣の分まで20臼くらい搗いたでしょうか。そのお餅は粘りがあって格別でした。

愛育園の子どもたちにも同じように元旦を迎えさせたい。そう思って、元旦の朝の横田神社のお詣りをお願いしました。初詣から帰ってきた子どもたちと、いつものおまいりをします。その後で一年の抱負を言ってもらいます。その後はおせち料理の朝食です。昨年調理の職員がおせち料理を作って、きれいにお皿に盛りつけてくれるようになりました。綺麗だーおいしいと子どもたちが言っています。暮れに搗いたお餅でお雑煮も食べられます。とってもおいしいです。子どもたちは、大人になっても元旦のお料理を忘れないでしょう。そして家庭を持ったら子どもたちに愛育園で教わったおせち料理を作ってあげることが出来るでしょうね。

令和二年を迎えて

年々、子どもたちが落ち着いて毎日の生活を頑張るようになりました。良い子どもたちだなーと心底から思えるようになりました。子どもたちが発する「園長先生大好きだよ!」というサインをたくさんもらって、嬉しくて余韻に浸ります。「子どもたち大好きだよ!」と心の中で返します。

令和二年は、今の養育をさらに深化したいと思います。具体的には、職員の研修を深めて子どもたちが穏やかに毎日を過ごせるようにすること。怒りの言葉、罵声、泣き声などは不要です。その為に、発達障害研修を深めたいです。テキストは平成24年に円福寺愛育園にお招きした宮本信也先生が監修されている「じょうずなつきあい方がわかる 自閉症スペクトラム」「じょうずなつきあい方がわかる LD」と司馬理英子先生が監修されている「じょうずなつきあい方がわかる ADHD」の育ちあう子育ての本(主婦の友社)三部作です。発達障害研修は、私たちがお互いの言葉遣いも良くするでしょう。さらに良い職場環境になります。

行事は、もっともっと充実させましょう。宇田津一郎先生の「前例踏襲は退歩」は愛育園の行事にも当てはまります。昨年よりもっともっと充実させ楽しい行事を創ります。このことは、子どもたちの養育に計り知れない良い影響を与えるでしょう。

今年もよろしくお願ひいたします。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

新年のご挨拶

主任保育士 石崎早織

新年あけましておめでとうございます。

昨年も皆様に支えられ、子どもたちも毎日元気に生活を送ることができましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年は私自身にとって子どもたちへの支援の仕方を改めて考える一年になりました。子どもと向き合う難しさを改めて痛感し、どのような支援をしたら子どもたちの力を伸ばしてあげられるのかを常に考え、ホームの先生方と協力しながら子どもたちの支援を行ってきました。子どもたちの力を一気に伸ばすことは無理ですが、日々私たちが子どもたちに伝えていることが少しずつ積み重なって子どもたちの成長に繋がるよう、そして、子どもたちが幸せな道を歩めるように今年も職員が一丸となり、よりよい支援ができるよう頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

あおぞらホーム長 富沢正樹

新年あけましておめでとうございます。

今年も気持ち新たに子ども達と一緒に、成長の一年にしたいと思っています。

愛育園は、子ども達が自立して社会に出て立派に活躍できるようになる事を目指しています。過去卒園していった子ども達が、1年、2年、3年と、仕事や学校を継続しているという話を聞くと、私はこの上ない喜び感じます。人の役にたつ仕事をしてお金を稼いで生活する。それは人としてとても幸せな事だと思っております。自分でそういう幸せを掴んで離さないでいられる子が増えてきた事がとても嬉しいのです。

今、愛育園で生活している子ども達もとても頑張っています。毎日の日課から、規則正しい生活を身につけたり、休まず登校したり、みんなで作り上げて楽しむ様々な行事から多くの経験を積んだりして、集団の力で自分たちを成長させています。

私は、自立の力をつけるためには、子供達が自分自身に自信を持てるようになる事がとても大事だと思っています。そうした日々の頑張りが、少しずつ自信をつけ、新たな意欲を生んで、また頑張っていて、自信をつけていく。その繰り返しを経て、やがて社会に出ていく。そんな良い循環を生みだして行く事が私たち職員の努めだと思っています。上手くいかない事もたくさんありますが、私たち職員がそういう思いで関わり続ける事、関わり続けてくれる人がいる事が子ども達にとって何よりの自信となる事は間違いなくいえると思っております。

あおぞらホームの子ども達がホーム職員に「先生、先生！」と嬉しそうな顔で駆け寄っていく光景が以前に比べてとても増えました。私たち職員の存在が、安心感を持たせる事から始まって、私

(令和2年1月10日発行 月刊「円福」472号付録)

たち職員の存在が子どもにとっての自信にまでつながったら、きっと社会に出て行った時に立派に活躍できる人を育てられると思っています。

日頃、愛育園をご支援、応援いただいている皆様方、いつも本当にありがとうございます。

私たちあおぞらホームの職員は、そんな子ども達の姿に夢を持って、一年間、一致団結して子ども達の養育をしていきたいと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

新年のご挨拶

調理主任 伊藤慈子

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、たくさんの方々に、様々な旬の食材を頂き、それらを使用することでメニューを充実させることができ、子供達も大喜びでした。ありがとうございました。

子供達にとって、毎日の食事は楽しみの一つです。『今日のご飯はなあに?』『おやつは?』と気になって聞いてきます。今、ご飯を食べているのに、『次のご飯は?』と聞いてくるほどです。時には、嫌いなメニューや食材の時もありますが、少し時間がかかっても残さずキレイに食べます。とても感心します。

私達調理は、美味しく作るのはもちろんのこと、もっともっと子供達が喜んでくれるような新しいメニューに挑戦したり、旬の食材を使い、行事食・郷土食を大切にし、食事を通して子供達に伝えていきたいと思っております。

本年も宜しく願い致します。

西横田しめ縄作り

まごころホーム 橋本雅

12月15日に、地区の行事でしめ縄作りをしました。低学年はしゃもじ、高学年はごぼう締めに分かそれぞれ作り方の違うしめ縄を作りました。藁を撚ったり編んだり作り方が難しく苦戦しながらも地域の方に教えていただいたり、サポートして頂きながら作り上げることが出来ました。苦戦しながら作っていた子ども達ですがとても上手に作る事ができました。2本目に挑戦する子どももいました。2本目に挑戦した子はコツを掴んだようで最初から最後までそれぞれの力で作り上げていました。子ども達から、「できたよ」と嬉しそうに見せてくれました。とても楽しい時間でした。

最近では、なかなか作る機会が減ってきていますが地域の方のおかげで作ることが出来とても良い経験をさせて頂きました。地域の皆さんありがとうございました。

愛総合避難訓練



あおぞらホーム 倉島誠

11月30日に当園の総合避難訓練を行いました。“総合”となると一般の避難訓練とは違い、情報伝達訓練・避難訓練・通報訓練・救護訓練・消火訓練等を行わなければいけません。前もってどういう訓練にするか計画を立てるのには苦労しました。実際に最近起きた台風19号の脅威

には恐ろしさを感じるものがありました。万が一の時のために、子ども達も含め、職員が自分の命、または子供たちの命を守るために、学び、備えていくことは大切だなと感じました。実際に避難し、通報してみたり、毛布と物干し棒で救護担架を作ってみたり、消火器の使い方を教えてもらって、やってみたりと、学校ではなかなかできない体験ができたのではないかと思います。この経験が、この子どもたちが大きくなった時、自分の大切な人を守る術として知っておいてほしいなと思います。ご協力いただいた篠ノ井消防署の皆さんありがとうございました。



クリスマス会



あおぞらホーム 金井雄大

12月22日、園での少し早いクリスマス会がありました。クリスマス会では、小学生や幼児さんを楽しませる為に、職員やあおぞらの中高生が色々と準備してきました。

私は、職員のダンスと、中高生のダンス発表を行いました。

職員の方は、1週間前から準備や練習をして、動きの確認や登場の仕方など打ち合わせておきました。本番では、恥ずかしかったで

すが、子どもたちが笑ってくれたので、良かったです。

中高生のダンスでは、クリスマス会の2日前に、ダンスをすることを伝えられ、すごく焦りました。ダンス自体は、それほど難しくはなかったのですが、子どもに教えるのが大変でした。

そんな時、主任の先生が子どもに声を掛けてくださり、上手にできなくて困っていた子どもも、またやる気を出し練習に取り組みしていました。本番前には、子どもと何度も動きの確認をしました。

本番では、多少のミスはあったものの、踊っているこちら、見ている子どもたちも楽しんでいて良かったと思います。

たくさんの子どもの笑い声が響いた、素敵なクリスマス会でした。

クリスマス会



まごころホーム 田中沙季

12月に入りあっという間に子ども達が楽しみにしていたクリスマスが目前に迫って来ています。子どもたちはサンタさんに頼むプレゼントを考えるなど、ウキウキした気持ちが伝わってきます。そんな中、一足早く22日にクリスマス会が行われました。会場はイルミネーションが設置され、会場に入ってきた子どもたちは「きれい！」と言って目を輝かせていました。クリスマス会

が始まると、まごころの職員のハンドベルと、リコーダーの発表や、あおぞらの職員と中高生のダンスや手品の発表もありました。あおぞらの発表では普段では見られないほどの子ども達の笑いであふれ、大盛り上がりとても楽しいクリスマス会となりました。限られた時間での練習でしたが、本番で発表して子ども達の笑顔を見ることができてとてもうれしかったです。



年末大掃除

あおぞらホーム 石龍成己

12月22日、休日を利用して、年末の大掃除を園全体で行いました。各部屋を掃除した後、各ホーム分担に分かれ、あおぞらホームは児童棟玄関、廊下、体育館、まごころホームは管理棟を中心に掃除をしました。事前に掃除の予定は告知しており、中高生の多くは今日に向け少しずつ部屋の片付けを進めてくれ、各分担の掃除にはスムーズに入れました。小学生は時間が掛かってはしまいましたが、学校でもらったプリント類、工作類が多くあり、必要な物、いらぬものと分別し、片付ける事ができました。いつもは職員が掃除機をかけますが、小3のH君も自ら進んで掃除機をかける事ができました。

私は、児童棟玄関の掃除を小学生と一緒にやりました。普段の掃除では見逃してしまう、天井のホコリを落としたり、傘置きも綺麗にしたり、下駄箱の上や隅の方まで雑巾がけをしました。低学年のチームということもあり、みんな身長は高くなかったのですが、少しでも上の下駄箱も掃除しようと必死にやってくれました。また、最初は小さな事で口喧嘩をする子もいましたが、一緒に掃除をしていく中で、協力しないと綺麗にならないと気づき、段々協力して掃除していく姿が見れました。中高生たちは、とてもテキパキと動いている姿が多く、予定よりも体育館掃除を早く終え、換気扇の掃除や、高圧洗浄機で壁面の掃除までしてくれました。終わってみると、見違えるように綺麗になったなと感じました。住まいを綺麗にした所で、また来年が良い年になるように大晦日を迎えられればと思います。

クリスマスディナー

栄養士兼調理員 原未華



今年もクリスマスの時期がやって来ました。食堂には子どもたちが可愛く、丁寧に作ってくれたクッキーが飾られた大きなクリスマスツリーあり、夜になると愛育園がきれいにイルミネーションされています。

クリスマスの時期が近づいてくると、食事の時でも子どもたちの会話の中でサンタさんをお願いしたクリスマスプレゼントの話で出て来ます。本当にクリスマスを楽

しみにしていると感じます。

ささやかながら、調理から子どもたちにクリスマスプレゼントとして、クリスマスイブの夕食ではクリスマスディナーを提供させていただいています。子どもたちの期待以上に応えられるように調理全員でメニューを考えました。去年は去年で、今年は今年のクリスマスディナーにしようと思いや案を出し合いました。決定したクリスマスメニューはクリスマスリースシチュー、ローストチキン（中高生・先生方）、手羽元の甘辛煮（幼児・小学生）、ピンチョス（カプレーゼ、ハム&チーズのミルフィーユ、きゅうり&ハム）フルーツの盛り合わせ、ジュースです。フルーツの盛り合わせではりんご、いちご、キウイフルーツ、みかんの4種類選びました。

時間があっという間に過ぎる中で、私たち調理も子どもたちに喜んでもらうために、精一杯作りました。

夕食後には、子どもたちから「おいしかった。ありがとう。」とたくさん言ってもらえたのでうれしかったです。

素敵で楽しいクリスマスディナーでした。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

毎日寒い日が続いていますが、子ども達の表情がより一層明るくなってきていると感じます。何で嬉しいのかなと小学生に尋ねてみると、ケーキがいっぱい食べれるからと答えたり、クリスマス会が楽しみと答えたり、サンタからプレゼントがもらえるからと答えたり、お正月行事が楽しみだからと答えてくれます。それぞれみんな楽しみにしている事が違いますが、園での行事にこれだけ関心を持って、しかも楽しみにしていてくれることに、本当に感謝しなければと感じています。我々も全力で行事を盛り立てて、冬休みの途中ではありますが、とても楽しい休みになってくれればと思います。

中高生の中にはこれから受験や就職を控えている子が4人います。まだどうしようと悩んでいる子もいたり、逆にもう進路をつかみ取った子もいます。それぞれ置かれている状況は違うと思いますが、この休みの期間を本当に大切に過ごしてもらいたいと思います。特に高校生は、園の子としていられる最後の冬休みであり、3月には卒園しなければなりません。卒業・卒園すれば自立して生活をしていかなければなりませんので、立ち止まってゆっくり考える時間も今よりは少なくなってしまいます。この期間を大切にしてもらい、進路を決めるだけでなく、先の事、今やっておかないといけないこと、整理して万全の状態でも休みを明けてもらえればと思います。



本年も、どうぞよろしくお願い致します。

まごころホームだより

まごころホーム 宮澤穂香

日中も雪が舞う日があり、一層寒さを感じる時季になりましたが、まごころの子どもたちは毎日元気に学校へ行き、過ごしています。

12月24日はクリスマスイブです。子供たちは夜に来ってくれるサンタさんをとっても楽しみにしていました。ホームで何かを作っている子に、「これは何？誰かにあげるの？」と聞くと、「プレゼントを置きに来てくれたサンタさんにあげるんだ！」と教えてくれました。毎日しっかり生活している子どもたちの為にきっとサンタさんは良いプレゼントを持って来てくれたことでしょう。

12月に入り箸ピー大会に向けての練習が始まりました。私は、今年初めて参加しますが、子供たちのピーナッツを運ぶ勢いに圧倒されました。幼稚園の年長さんも一生懸命頑張っていました。大会に向けてどんどん記録を伸ばし、めげずに取り組んで欲しいと思いました。

学校は冬休みに入りました。長かった2学期を振り返り、新たな目標を持って1日1日を過ごしてほしいと思います。

本年もよろしくお願い致します。



調理室だより

調理員 宮沢まき江

令和元年も師走となり終わろうとしています

今月も調理ではさまざまなメニューが目白押しでした。

- 1日 クリスマスツリーに飾りつけるクッキーを小学生と作りました。
ココア・抹茶・プレーン味の三種類を好きな型で抜き、チョコペンで飾り、皆思い思いのクッキーを楽しんで作り上げ、ツリーに吊るし、残りはおやつに食べました。
- 3日 Mちゃんの誕生日メニュー
- 5日 Kちゃんの誕生日寝メニュー
- 4日 「おっしやんの命日」特別メニュー
- 10日 三月に卒園しケーキ屋さん就職したSさんが「皆さんで食べてください」と大きなケーキを持ってきてくれ、自分でカットをし皆に配ってくれ、みんなは大喜びで、とても心温まる感謝の日となりました。
- 24日 クリスマスマニューは子供達がどんな反応をしてくれるかを想像し、わくわくしながら普段以上に腕を振り楽しく作りました。
反応は上々でした。
- 28日 恒例の餅つきが行われました。
5臼を子供達と先生方でついてもらい、お昼にあんこ、きなこ、おろし、のり等で頂きました。後はのし餅にしお正月に備えます。

今年も一年間ありがとうございました。

来年も子供達にとって心に残る食事を作って参りたいと思います。

